

令和4年度 徳島市 助任小学校 総括評価表

学校教育目標 自主性・社会性・創造性に富み、確かな学力を身に付け、心豊かでたくましく生きる子どもの育成

- 重点目標
- I 自ら学び、考え、行動する子ども(知)
 - II 思いやりのある子ども(徳)
 - III たくましい子ども(体)
 - IV 生徒指導の充実
 - V 特別支援教育の推進・充実
 - VI 信頼される学校づくり

元氣いっぱい
笑顔いっぱい
やる気・本気・根気
をもって
ゆめにむかって
すすんでいく学校

すすんで
なかよく
みがきあい

| 重点課題 | 重点目標 | 自己評価 評価指標と活動計画 | 自己評価 評価指標 | 学校関係者評価 学校関係者の意見 | 次年度への課題 今後の改善方策 |
|----------------------|--|--|--|---|--|
| 1 自ら学び、考え、行動する子ども(知) | ① 個に応じたきめ細かな指導に努める。 ・基礎、基本の徹底と個別指導の充実 ② 「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善 ③ 学ぶ楽しさを体験させ、学習意欲の高揚を図る。 ④ 学校・家庭における学習習慣の定着を図る。 ⑤ 全ての教科・領域で思考力・判断力・表現力等の向上をめざす。 ⑥ タブレット端末等を有効活用した学習の推進を図る。 ⑦ 読書習慣の確立を図る。 ⑧ ESD, SDG s の考え方を意識した実践に努める。 | 評価指標 ①自己評価項目の(個に応じたきめ細かな指導)でおおむねあてはまる以上が8.5%以上。 ②自己評価項目の(授業改善)でおおむねあてはまる以上が8.5%以上。 ③自己評価項目の(学習意欲を高める)でおおむねあてはまる以上が8.5%以上。 ④自己評価項目の(学習習慣の定着を図る)でおおむねあてはまる以上が8.5%以上。 ⑤自己評価項目の(タブレット端末等を有効に活用)でおおむねあてはまる以上が8.5%以上。 ⑥自己評価項目の(読書習慣の確立を図る)でおおむねあてはまる以上が8.5%以上。 ⑦自己評価項目の(ESD, SDG s)でおおむねあてはまる以上が8.5%以上。 | 評価指標の達成度 ① 97% (R3) → 92% (R4) ② 100% (R3) → 94% (R4) ③ 97% (R3) → 94% (R4) ④ 94% (R3) → 97% (R4) ⑤ 100% (R3) → 94% (R4) ⑥ 54% (R4) ⑦ 79% (R3) → 84% (R4) ⑧ 91% (R3) → 92% (R4) | 自己評価は妥当である。 学習内容の基礎基本を大切に、個に応じたきめ細やかな指導にあたる等、子どもの学習意欲を高めるように工夫ができていていると感じる。授業参観中も、どの学年も落ち着いた態度で学習をしている。学習規律が確立されていると感じた。また、複数の教員で指導したり、ALTや英語ボランティアと連携し、効果的な授業展開に努めた。 校内研修の着実な実施と学年団を中心とした研修により、授業力の向上(わかる授業づくり)に努めてきた。対話的な授業実践も少しずつ増やせるようになっており、今後はタブレット端末の更なる有効活用に向けての研修が必要である。学力の二極化については、低学年の段階から学習の困難さとその背景についてアセスメントを行い、学習ニーズに応じた指導方法の工夫をしていく必要がある。 家庭の通信環境も整いつつあるので、学校や家庭でのタブレット端末のさらなる有効活用を期待する。 | 学習規律の徹底を図るとともに、自分の考えを他者と比較したり深めたりし、伝え合う活動充実させることにより、協働的な学びの実現に努める。 低学年から見えてきている、学力の二極化の解消には、児童の学習ニーズに応じた教材提示や指導の方法を工夫することにより、よくわかる授業を実現した。補充・発展的な指導にも努める。 読書習慣の確立を図る。 ESD, SDG s の考え方を意識した実践に努める。 |
| | | 活動計画 ①児童の学習ニーズに応じた教材提示や指導の方法を工夫することにより、よくわかる授業を実現し、補充・発展的な指導にも努める。 ②ペア学習やグループ学習を取り入れるとともに、できるだけ賞賛の場を設け、主体的な学習ができるように配慮する。 ③ゲストティーチャーによる出前授業を積極的に活用するなど、実体験を通して学ぶ機会を増やす。 ④学力の実態把握より、課題を設定し、指導の改善を図る。 ⑤聞き方、話し方、調べ方等についての学習を展開し、具体的に指導する。 ⑥タブレット端末を活用した調べ学習や、学習アプリによる自主学習の推進を図る。 ⑦「朝の読書」「家庭読書」を通じ、読書習慣の確立を図る。 ⑧持続可能な社会の実現のために、社会の問題を自らの問題として主体的に捉え、問題解決に向けて、価値観や行動等の変容をもたらすよう意識し実践に繋がる教育活動に取り組む。 | 総合評価 (評定) B (所見) 概ね評価指標を達成できた。コロナ禍で、教育活動が制限される中、児童の多様な興味・関心に対応できるように努めた。読書習慣の確立については、保護者と児童の間に認識の差が見られ、保護者は読書量の増加を願っている。外国語は、ALTや英語ボランティアと連携し、効果的な授業展開に努めた。 | | |
| 2 思いやりのある子ども(徳) | ① 全ての領域で人権感覚を磨き人権尊重の精神を涵養する。 ② よりよい仲間づくりを通して思いやり的心や社会性を育成する。 ③ 「特別の教科 道徳」の時間をはじめ、全ての教科・領域で道徳教育を展開し、よりよ | 評価指標 ①自己評価項目(人権感覚を磨く)でおおむねあてはまる以上が平均で8.5%以上。 ②自己評価項目(集団の一員としての自覚や自主性の育成)でおおむねあてはまる以上が平均で8.5%以上。 ③自己評価項目(道徳実践力の育成)でおおむねあてはまる以上が平均で8.5%以上。 ④自己評価項目(よりよい仲間づくり)でおおむねあてはまる以上が平均で8.5%以上。 | 評価指標の達成度 ① 94% (R3) → 92% (R4) ② 82% (R3) → 89% (R4) ③ 97% (R3) → 92% (R4) ④ 100% (R3) → 94% (R4) | 自己評価は妥当である。 自尊心や自己肯定感を高めるということは、素晴らしいことではあるが、意味を取り違えることと自身の成長を阻害しかねない。自尊心を高めることが自信となり成長に寄与すること、共に、他尊心にもつ | 引き続き、子どもたちの様子を細かく観察し、適切な指導を行う。また、関係機関との連携を深め、問題に迅速に対応していく。特に、いじめ等については、アンケートや聞き取りを実施し、確認した事実に基づ |
| | | 活動計画 ①普段の学校生活の中で常時指導や人権学習により、系統的・継続的に指導していく。 | 総合評価 (評定) B (所見) 評価指標は達成できた。ゲストティーチャーを招いた人権学習や、各学年の人権集会を実施し、体験的な学びの中で人権感覚を磨く機会を設けた。互いを認め合うこと、褒め合うことに重点を置いた指導 | | |

| <p>別活動</p> | <p>く生きていくための資質・能力を培う。</p> <p>④ 児童会活動・学級活動等の内容を充実し、集団の一員としての自覚や自主性を育成する。</p> | <p>②元気タイムや外遊び、日々の生活指導の中で、よりよい人間関係の形成に配慮していく。</p> <p>③道徳科の時間をはじめ全教科や領域の中で、道徳的な指導を工夫して行う。</p> <p>④児童会活動を盛んにしたり、学級活動を大切にしたりして自主性、主体性を高めていく。</p> | <p>②元気タイムや心温まる行事（人権集会、6年生を送る会等）を実施し思いやりの心を育てている。</p> <p>③きまりのある生活の実践や互いに信頼し仲良く助け合っていくこと等、指導の徹底を図っている。</p> <p>④異学年による交流については制限されたが、子どもの主体性を重んじた活動は、できる限り実施できた。</p> | <p>により、人間関係を深めていきたい。今後も、より一層仲間づくりを通して、思いやりや社会性の育成に努めている。</p> | <p>ながってほしいと願っている。</p> <p>友だちとのトラブルや新型コロナウイルス感染症に関わる人権侵害にも十分配慮をして欲しい。</p> <p>地域によっては、外国籍の児童に対して「いじめ」があるという話を聞くが、本校では、そのような話を聞いたことがない。人権に配慮した指導を行っていたに感謝する。児童数の多い本校では、児童も多様な人々と触れ合う機会があるため、互いに認め合う心情が自然と育っているのではないかと。</p> | <p>然とした態度で学校全体で取り組む。</p> <p>多様な価値観をもった人々と関わる機会が多い本校の環境特性を活かし、自他の多様性を認め合う心情を育む人権教育を推進する。</p> <p>全教職員で人権問題についての研修に計画的に取り組み、自らの人権感覚を高めるよう努める。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|---|---|--|---|--|--|--|--|---|--|------------------------------------|---|-------------------------|----------------------|----------------------|----------------------|---------------------------|---|---|---|--|-----------------------------------|---|--|---|---|---|--|--|--|
| <p>3 たくましい子ども(体)</p> <p>・運動の楽しさを大切にしたりした体育科学習</p> <p>・体力、運動能力の向上</p> <p>・健康で安全な生活を営む力の育成</p> | <p>① 運動の楽しさや喜びを実感させ、生き生きと運動する意欲や能力を育成する。</p> <p>② 自分の心身に關心をもち、体力向上の実践力を育成する。</p> <p>③ 学校給食を中心に、より望ましい食習慣(食育)の推進を図る。</p> <p>④ 健康教育を充実し、生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送るための基礎を培う。</p> <p>・安全(交通・生活)教育、防災教育、防犯教育</p> | <table border="1"> <tr> <th>評価指標</th> </tr> <tr> <td>①自己評価項目(運動する意欲と能力の育成)でおおむねあてはまる以上が平均で85%以上。</td> </tr> <tr> <td>②自己評価項目(望ましい食育の推進を図る)でおおむねあてはまる以上が平均で85%以上。</td> </tr> <tr> <td>③自己評価項目(体力向上の実践力の育成)でおおむねあてはまる以上が平均で85%以上。</td> </tr> <tr> <td>④自己評価項目(保健安全教育の充実)でおおむねあてはまる以上が平均で85%以上。</td> </tr> <tr> <th>活動計画</th> </tr> <tr> <td>①運動の楽しさを高めるための学習内容・方法・指導を工夫する。</td> </tr> <tr> <td>②学習カードや各種検定表などを使用して、めあてを持った活動をさせる。</td> </tr> <tr> <td>③食育推進リーダー(栄養教諭)を校内組織に位置付け、指導を組織的に実践する。</td> </tr> <tr> <td>④健康教育を充実させ、健康で安全な生活を営む力を育成するよう努める。</td> </tr> </table> | 評価指標 | ①自己評価項目(運動する意欲と能力の育成)でおおむねあてはまる以上が平均で85%以上。 | ②自己評価項目(望ましい食育の推進を図る)でおおむねあてはまる以上が平均で85%以上。 | ③自己評価項目(体力向上の実践力の育成)でおおむねあてはまる以上が平均で85%以上。 | ④自己評価項目(保健安全教育の充実)でおおむねあてはまる以上が平均で85%以上。 | 活動計画 | ①運動の楽しさを高めるための学習内容・方法・指導を工夫する。 | ②学習カードや各種検定表などを使用して、めあてを持った活動をさせる。 | ③食育推進リーダー(栄養教諭)を校内組織に位置付け、指導を組織的に実践する。 | ④健康教育を充実させ、健康で安全な生活を営む力を育成するよう努める。 | <table border="1"> <tr> <th>評価指標の達成度</th> </tr> <tr> <td>① 94% (R3)→ 97% (R4)</td> </tr> <tr> <td>② 97% (R3)→ 89% (R4)</td> </tr> <tr> <td>③ 94% (R3)→ 94% (R4)</td> </tr> <tr> <td>④ 97% (R3)→ 92% (R4)</td> </tr> <tr> <th>活動計画の実施状況</th> </tr> <tr> <td>①「わたしたちの体育」の活用を図り、見通しを持ち自分のめあてを継続できるようにさせる。</td> </tr> <tr> <td>②休み時間には、外遊びを推奨している。また、子どもの実態(運動能力、泳力、鉄棒等)を把握し指導に活かしている。</td> </tr> <tr> <td>③食育推進計画を作成し、それに基づいて実践している。残食量の減少が見られる。</td> </tr> <tr> <td>④「保健だより」による情報発信により、健康教育の充実を図っている。</td> </tr> </table> | 評価指標の達成度 | ① 94% (R3)→ 97% (R4) | ② 97% (R3)→ 89% (R4) | ③ 94% (R3)→ 94% (R4) | ④ 97% (R3)→ 92% (R4) | 活動計画の実施状況 | ①「わたしたちの体育」の活用を図り、見通しを持ち自分のめあてを継続できるようにさせる。 | ②休み時間には、外遊びを推奨している。また、子どもの実態(運動能力、泳力、鉄棒等)を把握し指導に活かしている。 | ③食育推進計画を作成し、それに基づいて実践している。残食量の減少が見られる。 | ④「保健だより」による情報発信により、健康教育の充実を図っている。 | <table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td>(評定) B</td> </tr> <tr> <th>(所見)</th> </tr> <tr> <td>評価指標は達成できた。体育授業の充実や外遊びの奨励、食習慣の確立を通して、子どものたくましい体づくりを図っていた。</td> </tr> <tr> <td>新型コロナウイルス感染症対策として行っている毎日の検温や健康観察は、児童・保護者の健康面に対する關心を高めることに役立っている。また、食育に関する動画教材の活用により、望ましい食習慣の定着に繋がっている。</td> </tr> </table> | 総合評価 | (評定) B | (所見) | 評価指標は達成できた。体育授業の充実や外遊びの奨励、食習慣の確立を通して、子どものたくましい体づくりを図っていた。 | 新型コロナウイルス感染症対策として行っている毎日の検温や健康観察は、児童・保護者の健康面に対する關心を高めることに役立っている。また、食育に関する動画教材の活用により、望ましい食習慣の定着に繋がっている。 | <p>自己評価は妥当である。</p> <p>高学年にやや肥満傾向の児童が見られる。運動能力にも二極化が進んでいるため、走る、跳ぶ、投げるなどの基本的な運動経験を重ねてほしい。</p> <p>コロナ禍の中、黙での給食時間を活用して、地域の特産物や食育に関する動画を視聴したことが児童にも好評であった。体力の向上や、望ましい食生活の確立については、家庭が中心に取り組むべきことも多いと感じる。</p> | <p>多人数と限られた環境を生かした体力づくりを体育主任を中心に計画的に推進する。</p> <p>また、エビペンの使用や配慮の必要な児童の共通理解等、学校給食アレルギー対応の研修に取り組み、安心・安全な給食を徹底する。</p> <p>今後も体力づくりや心身の健康保持、食育の推進、危機管理等について取り上げ、家庭への啓発や地域との連携を進めていく。</p> |
| 評価指標 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ①自己評価項目(運動する意欲と能力の育成)でおおむねあてはまる以上が平均で85%以上。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ②自己評価項目(望ましい食育の推進を図る)でおおむねあてはまる以上が平均で85%以上。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ③自己評価項目(体力向上の実践力の育成)でおおむねあてはまる以上が平均で85%以上。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ④自己評価項目(保健安全教育の充実)でおおむねあてはまる以上が平均で85%以上。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 活動計画 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ①運動の楽しさを高めるための学習内容・方法・指導を工夫する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ②学習カードや各種検定表などを使用して、めあてを持った活動をさせる。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ③食育推進リーダー(栄養教諭)を校内組織に位置付け、指導を組織的に実践する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ④健康教育を充実させ、健康で安全な生活を営む力を育成するよう努める。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価指標の達成度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ① 94% (R3)→ 97% (R4) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ② 97% (R3)→ 89% (R4) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ③ 94% (R3)→ 94% (R4) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ④ 97% (R3)→ 92% (R4) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 活動計画の実施状況 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ①「わたしたちの体育」の活用を図り、見通しを持ち自分のめあてを継続できるようにさせる。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ②休み時間には、外遊びを推奨している。また、子どもの実態(運動能力、泳力、鉄棒等)を把握し指導に活かしている。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ③食育推進計画を作成し、それに基づいて実践している。残食量の減少が見られる。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ④「保健だより」による情報発信により、健康教育の充実を図っている。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 総合評価 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (評定) B | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (所見) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価指標は達成できた。体育授業の充実や外遊びの奨励、食習慣の確立を通して、子どものたくましい体づくりを図っていた。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 新型コロナウイルス感染症対策として行っている毎日の検温や健康観察は、児童・保護者の健康面に対する關心を高めることに役立っている。また、食育に関する動画教材の活用により、望ましい食習慣の定着に繋がっている。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>4 生徒指導の充実</p> | <p>① 基本的な生活習慣の確立</p> <p>・早寝、早起き、朝ご飯、徒歩通学、外遊び</p> <p>・あいさつと正しい言葉遣い</p> <p>・黙って心を込めた清掃活動</p> <p>② 自律心や他人との協調性の育成</p> <p>③ 校内生徒指導体制の確立と地域・家庭・関係諸機関との連携</p> <p>・いじめ、問題行動、不登校の早期発見・対応</p> | <table border="1"> <tr> <th>評価指標</th> </tr> <tr> <td>①自己評価項目(挨拶と正しい言葉遣い、清掃活動)でおおむねあてはまる以上が平均で85%以上。</td> </tr> <tr> <td>②自己評価項目(自律心や他人との協調性の育成)でおおむねあてはまる以上が平均で85%以上。</td> </tr> <tr> <td>③自己評価項目(校内指導体制の確立と地域・家庭、関係諸機関との連携)でおおむねあてはまる以上が平均で85%以上。</td> </tr> <tr> <th>活動計画</th> </tr> <tr> <td>①早寝、早起き、朝ご飯の推進。あいさつ・正しい言葉遣い・無言清掃の継続的指導を実施。</td> </tr> <tr> <td>②物事に対する自他の感じ方や考え方の違いを尊重し合いながら協力して生活できるよう、共感的な指導の充実を図る。</td> </tr> <tr> <td>③校内生徒指導部会において問題解決のための具体的な協議を行うとともに、家庭との連携を図る。</td> </tr> </table> | 評価指標 | ①自己評価項目(挨拶と正しい言葉遣い、清掃活動)でおおむねあてはまる以上が平均で85%以上。 | ②自己評価項目(自律心や他人との協調性の育成)でおおむねあてはまる以上が平均で85%以上。 | ③自己評価項目(校内指導体制の確立と地域・家庭、関係諸機関との連携)でおおむねあてはまる以上が平均で85%以上。 | 活動計画 | ①早寝、早起き、朝ご飯の推進。あいさつ・正しい言葉遣い・無言清掃の継続的指導を実施。 | ②物事に対する自他の感じ方や考え方の違いを尊重し合いながら協力して生活できるよう、共感的な指導の充実を図る。 | ③校内生徒指導部会において問題解決のための具体的な協議を行うとともに、家庭との連携を図る。 | <table border="1"> <tr> <th>評価指標の達成度</th> </tr> <tr> <td>① 挨拶、言葉遣い 97% (R3)→ 94% (R4)</td> </tr> <tr> <td>清掃活動 97% (R3)→ 92% (R4)</td> </tr> <tr> <td>② 97% (R3)→ 92% (R4)</td> </tr> <tr> <td>③ 84% (R3)→ 84% (R4)</td> </tr> <tr> <th>活動計画の実施状況</th> </tr> <tr> <td>①教職員や生活委員会であいさつ運動を実施している。</td> </tr> <tr> <td>②どの学年もトラブルはあるが、その都度発達段階に応じて共感的に指導することにより、協調性の伸長が見られた。</td> </tr> <tr> <td>③組織的に対応することで、問題共有がしやすくなってきた。</td> </tr> </table> | 評価指標の達成度 | ① 挨拶、言葉遣い 97% (R3)→ 94% (R4) | 清掃活動 97% (R3)→ 92% (R4) | ② 97% (R3)→ 92% (R4) | ③ 84% (R3)→ 84% (R4) | 活動計画の実施状況 | ①教職員や生活委員会であいさつ運動を実施している。 | ②どの学年もトラブルはあるが、その都度発達段階に応じて共感的に指導することにより、協調性の伸長が見られた。 | ③組織的に対応することで、問題共有がしやすくなってきた。 | <table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td>(評定) B</td> </tr> <tr> <th>(所見)</th> </tr> <tr> <td>評価指標は達成できた。あいさつや言葉遣いについては十分とは言えず、継続的な指導が必要である。</td> </tr> <tr> <td>新型コロナウイルス感染症対策としてのマスクの着用、手洗い、うがい、手指消毒の励行は徹底できた。</td> </tr> <tr> <td>基本的な生活習慣の確立については、家庭との連携が大切にして、子どもたちが「学校に行くことが楽しい」と思える学校づくりをめざす。</td> </tr> </table> | 総合評価 | (評定) B | (所見) | 評価指標は達成できた。あいさつや言葉遣いについては十分とは言えず、継続的な指導が必要である。 | 新型コロナウイルス感染症対策としてのマスクの着用、手洗い、うがい、手指消毒の励行は徹底できた。 | 基本的な生活習慣の確立については、家庭との連携が大切にして、子どもたちが「学校に行くことが楽しい」と思える学校づくりをめざす。 | <p>自己評価は妥当である。</p> <p>基本的な生活習慣の定着は、学習面の充実につながると思われるので、全教職員が意思統一を図って指導にあたって欲しい。</p> <p>指導に際しては、児童の思いや願いをじっくり聞いてほしい。共感的な姿勢で児童に寄り添った指導をお願いしたい。</p> <p>学年が上がるにつれて、不登校傾向の児童が見受けられる。不登校傾向の児童の心と不登校の心とのケアと不登校の</p> | <p>基本的な生活習慣の指導のあり方を全教職員で共通理解をし、根気強く取り組んでいく。</p> <p>問題行動やトラブルの指導を行う際には、児童の思いや願いを受け止めながら、望ましい行動を促していくよう努める。</p> <p>学校が児童一人一人にとって安全・安心な場となるよう、専門家や関係機関と連携しながら、児童の心の</p> | | |
| 評価指標 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ①自己評価項目(挨拶と正しい言葉遣い、清掃活動)でおおむねあてはまる以上が平均で85%以上。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ②自己評価項目(自律心や他人との協調性の育成)でおおむねあてはまる以上が平均で85%以上。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ③自己評価項目(校内指導体制の確立と地域・家庭、関係諸機関との連携)でおおむねあてはまる以上が平均で85%以上。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 活動計画 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ①早寝、早起き、朝ご飯の推進。あいさつ・正しい言葉遣い・無言清掃の継続的指導を実施。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ②物事に対する自他の感じ方や考え方の違いを尊重し合いながら協力して生活できるよう、共感的な指導の充実を図る。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ③校内生徒指導部会において問題解決のための具体的な協議を行うとともに、家庭との連携を図る。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価指標の達成度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ① 挨拶、言葉遣い 97% (R3)→ 94% (R4) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 清掃活動 97% (R3)→ 92% (R4) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ② 97% (R3)→ 92% (R4) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ③ 84% (R3)→ 84% (R4) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 活動計画の実施状況 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ①教職員や生活委員会であいさつ運動を実施している。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ②どの学年もトラブルはあるが、その都度発達段階に応じて共感的に指導することにより、協調性の伸長が見られた。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ③組織的に対応することで、問題共有がしやすくなってきた。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 総合評価 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (評定) B | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (所見) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価指標は達成できた。あいさつや言葉遣いについては十分とは言えず、継続的な指導が必要である。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 新型コロナウイルス感染症対策としてのマスクの着用、手洗い、うがい、手指消毒の励行は徹底できた。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 基本的な生活習慣の確立については、家庭との連携が大切にして、子どもたちが「学校に行くことが楽しい」と思える学校づくりをめざす。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | |
|----------------|---|--|--|---|--|---|
| | | | | | 未然防止のためにも、引き続き、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの積極的な活用をお願いしたい。 | ケアに努める。 |
| 5 特別支援教育の推進・充実 | <p>① 校内支援体制のさらなる充実・特別支援学級、通級指導教室の充実 ・指導、支援のシステムづくり</p> <p>② 一人ひとりのニーズに応じた指導・支援 ・個別の教育的ニーズの把握 ・具体的な指導・支援の展開</p> <p>③ 家庭・地域・関係機関等との連携・協力 ・就学前と中学校との連続性を重視</p> | <p>評価指標</p> <p>①自己評価項目(校内支援体制の整備充実)でおおむねあてはまる以上が平均で8.5%以上。 ②自己評価項目(一人一人のニーズに応じた指導)でおおむねあてはまる以上が平均で8.5%以上。 ③自己評価項目(家庭・地域・関係機関等との連携)でおおむねあてはまる以上が平均で8.5%以上。</p> | <p>評価指標の達成度</p> <p>① 7.6% (R3)→ 7.6% (R4) ② 8.8% (R3)→ 8.7% (R4) ③ 8.8% (R3)→ 8.4% (R4)</p> | <p>総合評価</p> <p>(評定) B</p> <p>(所見) 評価指標は、概ね達成できた。 特別支援学級在籍児童はもちろん、通常学級にも支援が必要な児童が増加している。一人ひとりのニーズに応じたきめ細かい支援・指導は今後も必要であり、家庭・関係諸機関と連携した長期的な見通しをもった取り組みが欠かせない。</p> | <p>自己評価は妥当である。 特別な支援が必要な子どもは、努力しても結果に表れないことが多いため、評価のあり方に配慮が必要である。 多様な特性をもつ子どもたちや、子どもたちを支援する教職員に対して、保護者や地域がフォローしていけるよう働きかけていきたい。</p> | <p>支援が必要な児童一人一人の発達特性や環境要因ついでのアセスメントを実施し、根拠に基づいた支援の手立てを行うことができるよう、SC、SW等専門機関との連携を図る。また、適切な指導・支援のあり方について、特別支援教育コーディネーターを中心に研修を行う。</p> |
| | | <p>活動計画</p> <p>①校内支援体制の整備を進め、特別支援教育を推進・充実する。 ②特別な支援が必要な子どもについて、個に応じた支援をしていく。 ③就学前と中学校との連続性を重視する。校内研修に特別支援教育を位置付け、また関係機関とも連携して研修を深めていく。</p> | <p>活動計画の実施状況</p> <p>①校内支援委員会やケース会議を定期的に開催し、子どもの現状の共通理解に努めた。 ②年度当初に実態把握をし、保護者と相談しながら支援をすすめている。 ③心理的に配慮が必要な児童については、スクールカウンセラー・ソーシャルワーカーや主任児童委員、児童相談所等と連携をとって対応していく。</p> | <p>総合評価</p> <p>(評定) B</p> <p>(所見) 評価指標は、③以外ほぼ達成できた。 開かれた学校の実現については、新型コロナウイルス感染拡大対策による制限があった影響で十分にできたとは言えない。 学校・保護者・地域および関係諸機関が相互に連携することで、子どもは安全・安心な学校生活を送ることができ。今後も、丁寧な情報発信に努め、説明責任を果たしていきたい。</p> | <p>自己評価は妥当である。 地域にとって「開かれた学校」となってもらいたい。昨今の学校の安心・安全を脅かす事件の報道を受けると危険もはらんでいるように感じる。門扉を閉じたり、来校者に声を掛けたりするなど、安全対策にも配慮してほしい。 教職員の働き方改革を進めるためにも、PTAとして協力したい。新型コロナウイルス感染症も収束の兆しが見えつつある今、学校行事やPTA活動の精選を進めるべきである。</p> | <p>登校時の交通立哨や下校パトロールに加え、青色パトロールカーの導入等、安心で安全な街づくりに保護者や地域と連携して取り組む。また、校内の防犯対策を見直し、児童の安全確保に努める。 コロナウイルス感染症収束後の学校行事やPTA活動については、学校評価による保護者アンケート結果や学校関係者の意見を取り入れながら計画していく。</p> |
| 6 信頼される学校づくり | <p>① 安全・安心な学校への改善・努力「開かれた学校づくり」</p> <p>② コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の活用</p> <p>③ 全教職員による協働体制の確立「組織的対応」</p> | <p>評価指標</p> <p>①自己評価項目(安全・安心な学校への改善努力)でおおむねあてはまる以上が平均で8.5%以上。 ②自己評価項目(地域や関係諸機関・諸団体との連携)でおおむねあてはまる以上が平均で8.5%以上。 ③自己評価項目(協働体制の充実、働き方改革の推進)でおおむねあてはまる以上が平均で8.5%以上。</p> | <p>評価指標の達成度</p> <p>① 9.7% (R3)→ 8.9% (R4) ② 9.7% (R3)→ 8.9% (R4) ③ 協働体制 8.8% (R3)→ 8.9% (R4) 働き方改革 8.3% (R3)→ 7.6% (R4)</p> | <p>総合評価</p> <p>(評定) B</p> <p>(所見) 評価指標は、③以外ほぼ達成できた。 開かれた学校の実現については、新型コロナウイルス感染拡大対策による制限があった影響で十分にできたとは言えない。 学校・保護者・地域および関係諸機関が相互に連携することで、子どもは安全・安心な学校生活を送ることができ。今後も、丁寧な情報発信に努め、説明責任を果たしていきたい。</p> | <p>自己評価は妥当である。 地域にとって「開かれた学校」となってもらいたい。昨今の学校の安心・安全を脅かす事件の報道を受けると危険もはらんでいるように感じる。門扉を閉じたり、来校者に声を掛けたりするなど、安全対策にも配慮してほしい。 教職員の働き方改革を進めるためにも、PTAとして協力したい。新型コロナウイルス感染症も収束の兆しが見えつつある今、学校行事やPTA活動の精選を進めるべきである。</p> | <p>登校時の交通立哨や下校パトロールに加え、青色パトロールカーの導入等、安心で安全な街づくりに保護者や地域と連携して取り組む。また、校内の防犯対策を見直し、児童の安全確保に努める。 コロナウイルス感染症収束後の学校行事やPTA活動については、学校評価による保護者アンケート結果や学校関係者の意見を取り入れながら計画していく。</p> |
| | | <p>活動計画</p> <p>①登下校の安全対策について、積極的に努める。子どものけがの防止に努める。 ②子ども、保護者、地域の方々にアンケートを実施し、学校関係者評価委員会で評価結果を検討し、今後の改善方策に役立てる。 ③学年会、職員会、終礼等で共通理解を図る。「報告・連絡・相談」で、トラブル等は、一人で抱え込まずに組織で対応する。</p> | <p>活動計画の実施状況</p> <p>①教員による交通立哨や下校パトロール、地域や保護者による登下校指導の実施。児童の健全育成に関する事業の推進。 ②アンケートから見える課題をつかむ。学校評議会を実施し、学校教育に関する意見聴取をし、今後の学校運営に活かす。 ③職員会や終礼等で、文書や口頭による共通理解を徹底する。組織の活性化を図り、風通しのよい職場環境をつくる。</p> | <p>総合評価</p> <p>(評定) B</p> <p>(所見) 評価指標は、③以外ほぼ達成できた。 開かれた学校の実現については、新型コロナウイルス感染拡大対策による制限があった影響で十分にできたとは言えない。 学校・保護者・地域および関係諸機関が相互に連携することで、子どもは安全・安心な学校生活を送ることができ。今後も、丁寧な情報発信に努め、説明責任を果たしていきたい。</p> | <p>自己評価は妥当である。 地域にとって「開かれた学校」となってもらいたい。昨今の学校の安心・安全を脅かす事件の報道を受けると危険もはらんでいるように感じる。門扉を閉じたり、来校者に声を掛けたりするなど、安全対策にも配慮してほしい。 教職員の働き方改革を進めるためにも、PTAとして協力したい。新型コロナウイルス感染症も収束の兆しが見えつつある今、学校行事やPTA活動の精選を進めるべきである。</p> | <p>登校時の交通立哨や下校パトロールに加え、青色パトロールカーの導入等、安心で安全な街づくりに保護者や地域と連携して取り組む。また、校内の防犯対策を見直し、児童の安全確保に努める。 コロナウイルス感染症収束後の学校行事やPTA活動については、学校評価による保護者アンケート結果や学校関係者の意見を取り入れながら計画していく。</p> |

「評定」の基準 A：十分達成できた、 B：概ね達成できた、 C：達成できなかった